

# 課題と施策展開の方向性 ～東京舟運活性化に向けて～

# 1 問題点と課題の洗い出し

## <前回WGで出された課題>

### <運航・事業者>

- ◆ 羽田空港はじめ多様な航路の充実が求められる。
- ◆ これまで利用されていない船着場の活用も視野に入れた、新たな航路の創出が求められる。
- ◆ 船着場の一般開放の一層の促進を図ると共に使用条件の統一が求められる。

### <船着場>

- ◆ 船着場周辺の観光案内の充実など、水辺の賑わいと街なかの賑わいを連携させた回遊性の創出が求められる。

### <舟運とまちとの連携>

- ◆ 最寄りの駅やバス停留所など、船着場と公共交通と案内誘導サインの充実による交通結節機能の強化が求められる。
- ◆ 船着場自体の統一ロゴマークの整備や乗船客のための利便施設の充実など、利用者にとってわかりやすく気軽に乗船したくなるような環境整備が求められる。
- ◆ 舟運と街なかの観光サービス等をセットにする等の工夫が求められる。

### <水辺（航路）の魅力>

- ◆ 移動中の船内でのサービスも含めた舟運ガイドの質の向上など、陸上交通にはない水辺の魅力を最大限に活かした魅力づけが求められる。

## <調査運航のアンケートから出された課題>

### <運航・事業者>

- 運航ダイヤや料金の明確化が必要
- 展望デッキや洋式トイレ（男女別）など船内施設の充実が求められている
- 羽田エリアと臨海部や都心部など各エリアとの連携要望が高い
- 外国人には東京舟運の認知度が低い。

### <船着場>

- 乗船客が必要とする施設や設備（トイレ、日よけ、自動販売機等）が十分に整備されていない船着場がある
- 高齢者や外国人観光客等、様々な乗船客のニーズへの対応が必ずしも十分とはいえない
- 船着場のにぎわいがなく、さびしい印象の船着場がある

### <舟運とまちとの連携>

- 最寄り駅で船着場案内表示に気がつかない、場所が分かりにくい船着場がある
- 船着場での周辺観光案内板が必要
- 船着場周辺で散策できる、駅から近い船着場から乗船できる、船着場とホテルを結ぶ送迎バスがあるなどが船に乗りたくなる条件
- 乗船料金をICカード（PASMO/SUICA等）で支払えるとよい

### <水辺（航路）の魅力>

- 航路上の景観はさびしいところもある反面、ビル群の風景や橋梁など魅力的なものも多い
- 船内での観光案内（ガイドや音声）の要望が高い
- 陸移動とは違った視点でゆったりと景観が楽しめるため、説明を聞きながら乗船したい意見が多い

## 2 現状からみた問題点と施策展開の方向性

### 【現状からみた問題点】

#### <運航・事業者>

- 羽田～臨海部～都心を結ぶ航路での定期的な運航がなく、利用者の認知度も高いとは言えない
- 活用されている船着場は限定的
- 船着場の利用条件が統一されていない
- 事業者ごとに情報発信がなされており、利用者にとって必要な情報が一覧できない

#### <船着場>

- 乗船客が必要とする施設や設備（トイレ、日よけ、自動販売機等）が十分に整備されていない船着場がある
- 高齢者や外国人観光客等、様々な乗船客のニーズへの対応が必ずしも十分とはいえない
- 船着場のにぎわいがなく、さびしい印象の船着場がある

#### <舟運とまちとの連携>

- 鉄道駅等から遠かったり、分かりにくい船着場も多い
- 舟運と他の交通機関や観光・文化施設等との有機的な連携が十分とはいえない

#### <水辺（航路）の魅力>

- 航路上の景観はさびしいところもある反面、ビル群の風景や橋梁など魅力的なものも多い

### 【施策展開の方向性】

A 航路の「軸」の設定

B 多様な舟運の活性化

C 船着場の利便性向上

D 舟運とまちとの連携強化

E 水辺（航路）の魅力向上

### 3 施策展開の方向性

#### A 航路の「軸」の設定

- 東京舟運の活性化に向け、「軸」となる航路を設定  
積極的なPRを通し、舟運の認知度を上げる

- 「軸」設定のポイント

【羽田空港】羽田空港は東京の空の玄関口 (年間乗降客数 7400万人(※1))

【臨海部】 MICE関連施設・宿泊・商業施設の集積、観光拠点、新たな住宅地集積地  
(臨海副都心の年間来訪者 5540万人(※2))

【都心】観光資源の活用促進、隅田川軸における都心部との結節点  
(浅草・向島エリアの年間観光客数6600万人(※3))

羽田(羽田空港、天空橋)～臨海部(有明、日の出、お台場海浜公園等)～都心(浅草二天門、吾妻橋、両国、日本橋)  
を結ぶ航路の設定

多様な形態の舟運事業者(クルーズ船、屋形船、水上タクシー等)による  
継続的な社会実験の実施

(※1) 出典：「空港利用状況ガイド集計表 H26年度」(国土交通省)

(※2) 出典：東京都港湾局ホームページ

(※3) 出典：「北十間川水辺活用検討業務委託報告書(H26年度)」(墨田区)

### 3 施策展開の方向性

#### B 多様な舟運の活性化

○利用可能な船着場を増やし、多様な航路での運航につなげる

- ・更なる公共棧橋の開放、防災船着場の活用の促進
- ・船着場の新設

○船着場設置者、管理者ごとにことなる船着場の利用条件統一を図り、舟運事業者の利便性を向上

- ・申請方法の統一
- ・利用料や利用時間の一覧化 ⇒ 将来的には、利用料や利用時間の統一

○利用者目線に立った情報発信

- ・多様な運航航路を一覧できる情報提供の実施 ⇒ ポータルサイト開設等

### 3 施策展開の方向性

#### C 船着場の利便性向上

##### ○船着場における利便施設の整備推進

- ・トイレ、日よけ、自動販売機設置等
- ・棧橋や乗船時のバリアフリー対応拡充

##### ○外国人観光客への配慮

- ・船着場や船内での多言語対応の促進

##### ○船着場の賑わいを創出

- ・船着場に隣接するカフェなどを設置

<セーヌ川のバドビュスは9カ国語で説明>



出典：東京都都市整備局 資料



<広島市元安川のオープンカフェ>

出典：東京都建設局 資料

### 3 施策展開の方向性

#### D 舟運とまちとの連携強化

##### ○利用者視点に立ったサイン計画

- ・鉄道駅等からの案内の充実等

##### ○船着場の統一ロゴマークの整備

##### ○船着場や水辺とまちの開発との連携

- ・両国、羽田空港跡地開発等

##### ○他の文化観光施設との有機的な連携

- ・船着場近くの美術館、博物館など  
文化観光施設と乗船券をセットにした  
共通利用券の企画
- ・将来的には、交通系ICカードの導入を検討

＜案内サイン例＞  
（大阪市）



出典：東京都建設局 資料

＜乗船場のロゴマーク＞  
（ロンドン）



出典：東京都都市整備局 資料

### 3 施策展開の方向性

#### E 水辺(航路)の魅力向上

##### ○河川や運河に顔を向けたまちづくりの推進

##### ○水辺景観の向上

- ・橋梁・遊歩道のライトアップ
- ・水辺の緑化等

##### ○船内サービスの向上に向けた支援

- ・ガイドの育成支援
- ・舟運事業者による船内サービス提供等

<川に顔を向けたまちづくり(大阪道頓堀川)>



出典：東京都建設局 資料

<吾妻橋のライトアップ>



出典：東京都建設局 資料